

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.2
210

皆さんで助け合い業務改善して下さい

最近『ノー残業デー』が毎週金曜日に設定してあるのに徹底できない！これは社長がだらしなせいでしょうか。

組合の方々と誓い合い国に登録した36協定も徹底できない時があります。これも社長がだらしなからだと思っております。

しかしこれら労働時間管理は皆さんにご理解とご協力をいただかなければできないことです。仕事が第一で、会社のためについ残業時間をオーバーしてしまつ。社員の皆さんの仕事に『責任感』が強ければ強い程この状態になってしまいます。時代は昔と違います。

まずは社員の皆さんの『健康第一』です。そして『日本国法令を遵守』することです。この協定も組合の方々と一緒に宣言したものであります。

規定の残業を越えそうになった時、一番良く知っているのは社員の人、本人であります。組合員の社員の方は、上司に報告しにくい時もありましょう。その時には規定残業時間を超える前に労働組合委員長に報告し残業を止めて下さい。

その事はイナテック労働組合委員長が会社と連絡をし、『みんなで助け合い』一人の負担を少なくいたします。みんなで協力するということ。次になぜ規定を上回る残業になつてしまうのか。

又、なぜ『ノー残業デー』が徹底できないのか議論をし、業務改善をすることがこの規制の本当の狙いなのです。社員の人が健康で、効率よく仕事ができる環境づくりなのです。企業理念でいつも申し上げている『気づいてあげる』『協力し合う』『フォローしあふ』『を皆で実行し、気持ちの良い職場にいたします。是非、ご協力をお願いいたします。』

働く意味を考える

『信念が未来をひらく』伊藤幸男著

- 「天職」とは出会うものではなく、自らつくり出すものである
 - 『働く』ということは、試練を克服し、運命を好転させてくれる、まさに『万病に効く薬』なのだということ
 - 『働くことが人をつくる』すなわち仕事にしっかりと励むことによつて、自己を確立し、人間的な完成に近づいていく。
 - 精一杯仕事に取り組んでいる場合にはやはり心が磨かれる。心を磨かなければ仕事は進まない。
 - 働く過程で忍耐力を鍛えます。知恵を鍛えます。多くの人に支えられていることを感知し、感謝することを学びます。謙虚さを学びます。
- この抜粋は『稲盛和夫の経営の哲学に学ぶ』というサブタイトルの本です。
- 我々がいつも「仕事とは」「人生とは」……色々と悩んでいることのヒントが沢山あり

ます。元気を出して皆で頑張ろう。

日本よ頑張れ！蘇れ！

私の友人の息子さんM君（小さい頃から知っている男子）は、只今大学一年生で、今騒然としている中東のレバノンの大学に留学している好青年です。

今ではたまにメール送信してくれます。そんな彼に私が

「レバノンの様子、想像できませんが、M君が留学している間に一度行ってみたいと思います」と返信したら、その時のReメールを紹介します。

『最近忘年会と新年会が続いたりして、日本大使館の方たちと一緒する機会も出来て、日本のことを耳にすることが多いです。

やはり外にいても常に自国のことを意識していないといけないと改めて思いました。

やはり色々なことにおいて最近是中国人や韓国人に越されているのかなと思ったりします。特に学業、仕事、政治と国の要になるはずの重大要素がそうなのではないか

と思うのです。

勿論、これには自分も当てはまるので正直指摘するたびにドキッとしますが、やはり無視して済む話でもないと思いますし、今後の日本のためにも、意識しないといけないと思います。

尖閣諸島の問題で、日本の外務省の反応がいかに単純で中国との外交能力の差を目の当たりにしました・・・』

20歳前後の日本の三河生まれの青年のメールです。平和ボケしている日本人に聞かせてあげたいものです。“人の振り見て我が振り直せ”まだ、素晴らし日本国青年がいます。先輩の我々も青年と議論できるよう頑張って日本を立て直すつもりではありませんか。